

秋田市、中学生が体験「楽しい」「おいしい」 **花の定植 手作りピザ**



秋田市仁井田の市園芸振興センターで1日、同市の御所野学院中学校の2年生5人が花の定植や野菜を使ったピザ作りなどに体験した。農業への関心を高めてもらおうと、同センターが2022年から毎年行っている体験学習の一環。

花の定植では、センター担当者からアドバイスを受けながら、紅色のアスターの定植に挑戦。手動の移植機を使って土に穴を開け、苗を丁寧に植えていった。ぎこちない手つきだったが、徐々に慣れた様子で取り組んでいた。アスターは、9月の彼岸ごろに咲く予定。

山崎陽斗さんは「初めての経験で最初は戸惑ったが、機械で穴を開けて苗を落とす作業に次第に楽しさを感じた。時期をずらして栽培していることは初めて知った」と目を輝かせた。

昼食用のピザ作り体験では、あきたこまちの米粉が入った生地をハート形など思い思いの形に延ばし、センターで収穫されたトマトやタマネギ、アスパラガス、トウモロコシをトッピングした。焼き上がると、香ばしい匂いに歓声が上がった。センター産のカボチャのポタージュや、イチゴの牛乳寒天も振る舞われ、彩り豊かな昼食に舌鼓を打った。「生地をこねて延ばす工程が難しかったが、今まで食べたピザで一番おいしいものを作れた」と語ったのは加賀谷陽さん。あふれんばかりの具材を盛り付けたピザを満足そうに頬張っていた。

生徒たちは、同市四ツ小屋にあるJA秋田なまはげの流通センターと、エリアなかいち内の直売所「あぐりんなかいち」も見学した。体験は3日まで行われ、アスパラガスの収穫や人工知能(AI)を活用して栽培されているトマトの収穫も行う予定。(田村智哉)(令和7年7月2日(火)秋田魁新聞より一部抜粋)